

私は、パソコンで何か作業することが好きだったので、“プログラミングでゲームを作る”というテーマに魅力を感じて、このゼミを選択しました。ゼミ担当の高橋先生にも1年生の時からいくつかの授業でお世話になっていたのですが、先生がゼミを担当していると聞いた時から、私は高橋先生のゼミに入ることを決めていました。

法学部ではコンピュータリテラシーの授業が必修となっていますが、ゲームプログラミングを学ぶことは、ゲームに留まらずプログラミングの知識全体を学ぶこととなります。本ゼミでは、実際にゲームプログラムを作っていくことによって、プログラミングを学習していきます。具体的には、C言語によるゲームプログラミングの教科書を用いて、コンピュータグラフィックス、アドベンチャーゲーム、ロールプレイングゲーム、カードゲーム、シュミレーションゲームなどのプログラムを作りながら、実践的に知識を身につけていきます。所謂ゲームがどのような仕組みで動いているのか学ぶことができるため、普段からゲームをプレイされる方には、特に理解しやすいように思います。

夏のゼミ合宿では、栃木県的那須塩原まで行ってきました。広い土地に澄んだ空気。そしてなんと言っても、ごはんがとっても美味しかったです。そのおかげで、ごはんを楽しみにしながらプログラミングを頑張ることができました。また、私は天体に興味があり、高橋先生が天文学を専門としていると聞いたので、勉強の合間に宇宙や星について様々なお話を聞くことができ、楽しかったです。大自然の中での合宿なので、夜には今までに見たこともないような数の星を眺めることができました。皆さん、プラネタリウムに一度は行ったことがあるのではないのでしょうか。それを想像してはいけません、それ以上です。有名な星座は東京でもいくつかは見えるかと思いますが、その星座を作っている星の間にも数え切れない数の星ははっきり見えてくるのです。その上、流星群ではないのに流れ星もいくつも見ることができました。おかげで私は、この夏最高の思い出を作ることができました。

プログラミング、と聞いて堅い印象を持っていた私ですが、教科書に沿って初歩からきちんと学ぶことができるため、安心して着いていくことができました。なので、プログラミングの経験がない方でも問題ありません。パソコンをいじることが好きな方、ゲームが好きな方、星が好きな方には是非お勧めしたいと思います。

